

2021年6月11日

各位

株式会社 みなと銀行

「本店ビル」における再生可能エネルギー由来の電力への切替えについて

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行(社長 武市 寿一)は、本年8月より、「本店ビル」で使用する電力に、シン・エナジー株式会社の「実質再エネオプション特約」を導入いたします。

これにより「本店ビル」で使用する電力の全量が、実質的に再生可能エネルギー由来のCO₂を排出しない電気^{※1}に切り替わり、年間約560トンのCO₂排出量の削減を見込みます。これは杉の木約40,000本が1年間に吸収するCO₂^{※2}に相当します。

今後も、関西みらいフィナンシャルグループは、本業を通じ地域経済の活性化に努めるとともに、社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組み、多くの皆さまとともに持続的成長と環境・社会課題の解決の両立を推進してまいります。

【対象物件】

名 称	みなと銀行 本店ビル
所 在 地	神戸市中央区三宮町2丁目1番1号
CO ₂ 排出削減量 ^{※3} (見込み)	▲560t-CO ₂ /年

※1 「地球温暖化対策の推進に関する法律」(温対法)の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」において、使用する電気の全部または一部を、CO₂排出計数をゼロとして、CO₂排出量(調整後)を算定することができます。

※2 杉の木は年間約14kg-CO₂/本のCO₂を吸収(出典:環境省/林野庁)

※3 環境省令和元年度(令和3年1月7日環境省・経済産業省公表)電気事業者別排出係数一覧
<<https://www.env.go.jp/press/files/jp/115373.pdf>>により算定



【みなと銀行 本店ビル】

以上

参考

関西みらいフィナンシャルグループは、2030年のSDGs達成に向け、「2030年SDGs達成に向けたコミットメント（関西みらいSustainability Challenge 2030）」を公表し、「地域」「少子高齢化」「環境」「人権」に関し、様々な取り組みを実施しております。

【2030年SDGs達成に向けたコミットメント（関西みらいSustainability Challenge 2030）】

カテゴリー	テーマ	コミットメント
地域	地域経済の活性化  17の目標すべて	1-1 環境・社会課題をテーマとした建設的な対話等により、お客さまとともに持続可能な社会の実現を目指します 1-2 地域の中小企業や個人のお客さまのライフステージにおいて、金融・情報仲介機能や先進的金融サービス等を提供し、地域経済の活性化、社会や暮らしの利便性向上に貢献します
少子高齢化	少子高齢化に起因する将来不安の解消、次世代支援    	2-1 金融コンサルティング、金融経済教育等の金融リテラシー向上の取り組みを通じて、将来に向けた資産の形成、承継をサポートし、生涯にわたる生活の質の向上に貢献します
環境	地球温暖化・自然環境汚染への対応  	3-1 ・社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指します ・自然環境や生物多様性を保全する地域活動の輪に参加し、まちの魅力向上に貢献します
人権	ダイバーシティ&インクルージョン    	4-1 人権や多様性を尊重し、誰もが仕事も生活も充実させ自分らしく活躍できる社会づくりに貢献します